

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	骨粗しょう症予防検診			事業番号	011-179
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1)健康で長生きできる都市の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		

2	関連計画	健康さかい21（第2次）			
3	事業開始年度	平成 6 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	健康増進法、堺市骨粗しょう症予防検診事業の実施に関する要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区（保健センター）			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	18歳以上の堺市民	対象数	約700,000	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	骨密度が低下すると些細なことで骨折することが多くなり、治療で寝たきりの状態になることが多い。骨密度は20歳前後を境に低下していくため、若い世代（18歳時）より現状の骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	各保健センターにおいて2か月に1回程度の検診日を設定し、市民が申し込みを行い骨密度の測定を実施。検診結果に応じて保健師又は管理栄養士がその場で指導を行う。 自己負担金：640円（市民税非課税世帯・生活保護世帯等の方は事前に保健センターへ申請すれば無料）			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)				
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	受診者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	606	760		
達成率	61%	76%					
	当該指標を選定した理由	骨密度を適切に把握し、健康指導・治療につなげることで市民の健康の保持増進を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度実績を基準とし、受診者数増加を目標とする。(延べ人数)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	骨粗しょう症予防検診の実施回数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	42	42	42	
			実績値	42	41		
達成率	100%	98%					
	当該指標を選定した理由	検診受診の機会を適切に確保するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	保健センターにおいて、2か月に1回の検診実施を目標とする。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	骨粗しょう症予防検診	事業番号	011-179
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	1,178	1,598	1,362	1,143	1,370
13財源内訳					
国支出金	180	100	190	158	161
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	998	1,498	1,172	985	1,209
14人件費 (b)	2,960	2,960	2,960	2,960	2,950
15年間経費(c)=(a)+(b)	4,138	4,558	4,322	4,103	4,320

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
	R4	決算	263	263			R4	決算			
16事業費内訳	消耗品費	R5	予算	434	434		R5	予算			
		R4	決算	15	15		R4	決算			
印刷製本	R5	予算	23	23		R5	予算				
	R4	決算	832	674		R4	決算				
超音波骨密度測定装置保守業務	R5	予算	832	671		R5	予算				
	R4	決算	33	33		R4	決算				
その他使用料及び賃借料	R5	予算	81	81		R5	予算				
	R4	決算				R4	決算				
		R5	予算			R5	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 受診者数	人	606	760
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,558	4,103
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,522	5,399
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策を行った上で、通年検診を実施した。</p> <p>R 3 年度は感染症拡大の影響により、定員を削減して実施した回があるため受診者数が減少したが、R 4 年度は予定通り実施できたため前年度と比べ受診者数は増加した。</p> <p>単位当たり経費は前年度より減少した。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>検診体制を整備しているため、各区で通年検診を実施できている。</p> <p>骨密度測定の機会と同時に健康相談を行い、保健師又は管理栄養士などの専門職が生活習慣などの指導を行い、市民の健康の保持増進に寄与している。</p>
----	---